

心を豊かにする音楽科

< 第15回講座 >

- * 日時 : 2022年2月4日(金) 09:50~11:50
- * タイトル : 「オペラの歴史 楽しみ方」
- * 講師 : 清原 邦仁 氏
- * 共演 : 関口 康祐 氏 (ピアノ)
- * 演奏曲目 : 1. 「陽はすでにガンジスから」
2. 「私を泣かせてください」
3. 「我が愛する人の元へ」 等



話は、オペラってなに?に始まり オペラのはじまり、オペラの種類、声の種類
歴史と鑑賞と講義は続きました。

オペラはラテン語の「OPUS」(Op. 作品 No)より転じて、イタリア語のオペラ(opera musicale)と表すようになる。

起源は、1600年代イタリア フィレンツェの貴族(バルディ家)のサロンで音楽家、詩人たちの芸術家集団「カメラータ」が集まり始まる。日本でも同時期 歌舞伎が始まる。

オペラの題材も 神話・叙事詩 → 貴族 → フランス革命の勃発により 民衆 → (裏の社会) → ヨーロッパ外の世界 へと
スポットを当てて変化していく。

初期のストーリーには、ギリシャ神話(トロイ)・叙事詩(オデュッセイ・オルフェウス)
ポエム・哲学的・宗教的なものがある。

声の種類にも女性は、ソプラノ・メゾソプラノ・アルト
男性は、カストラート(変声期前に去勢し少年期の声を維持する)・カウンターテノール・
テノール・バリトン・バスがある

鑑賞としては、年代別に

- 1680年 古典イタリア歌曲「愛のまこと」より“陽はすでにガンジスから
ダ・カーポ形式(A → B → A と戻る)
- 1711年 バロックの作品(感情の爆発)「リナルド」より“私を泣かせてください”
装飾音符(普通の音符より小さく表記され演奏をきらびやかにするもの
や音をすばやく交互に繰り返すものなど)が使われている。
- 1787年 オペラの歴史を変えたモーツァルト (バロック的なキャラクター)
「ドン・ジョヴァンニ」より “我が愛する人の元へ”
- 1790年 「コジ・ファン・トゥッテ」より“愛の息吹は” → 「テノール殺し」の難曲
- 1832年 前期ロマン派ドニゼッティ「愛の妙薬」より“なんて美しく可愛い
ベル・カント(自然に近い美しい歌い方 喉に無理なく低音～高音まで
のびやかに歌う、また歌手が好きなように歌っても良い部分を空白に
している)
- 1853年 後期ロマン派の作品 演劇要素が深まる → 歌手重視よりドラマ性
ヴェルディの 「椿姫」“燃える心に“
- 1899年 プッチーニ 「トスカ」“妙なる調和“ → 上4度、下5度のざわつく音階

数多くの曲を聴きました。

最後に

[音楽は、聴くものではなく 体感するもの]

と教わり 素晴らしいテノールの声と楽しいトークで授業は終わりました。